

## 国立研究開発法人理化学研究所 和光事業所見学会 実施報告

2017年11月6日(月) 14:00～16:30

### 1. 会場

国立研究開発法人理化学研究所 和光事業所  
(埼玉県和光市広沢2-1)

### 2. 概要

国立研究開発法人理化学研究所は日本で唯一の自然科学の総合研究所として、物理学、工学、化学、計算科学、生物学、医科学などに及ぶ広い分野で研究を進めている。今回、埼玉ブロックでは、理化学研究所見学会として仁科加速器研究センター、創発物性科学研究センター創発物性科学研究支援チーム及び、前田バイオ工学研究室の見学を企画し、工学分野だけでなく幅広い分野の研究をご見学いただいた。

### 3. 参加者数

23名

### 4. 実施内容

まず、理化学研究所の概要説明として、設立の理念からこれまでの変遷と昨年で100周年を迎えたこと、新元素ニホニウムの発見に至るまでの経緯等について説明を受けた(写真1)。

次に和光事業所内を徒歩で仁科加速器センターに移動し、説明を受けた。仁科加速器センターでは、渡邊康前任研究員よりギャラリー(写真2)でRIBF棟の全体像についての説明を受けた後、超電導リングサイクロトロン(サイクロトロン)の模型に移動して、3D映像を交えて、原子核を加速させる原理の説明を受けた。使用する原子核、魔法数や、原子核の選別方法、サイクロトロン装置が所定の仕様を發揮していることをどのように確認しているのか等、担当者がタイムオーバーを気遣わなければならないほど、活発に質問が飛び交った。

その後は、A、B二つの見学コースを設定し、参加者は、希望するコースで見学を行った。

A班の11名はナノサイエンス実験棟を見学した。はじめに創発物性科学研究センターの秋元彦太チームリーダーから講演の形式でナノサイエンス実験棟に関する全般的な説明、およびクリーンルームに関する説明を受けた(写真3)。その後、低温実験室および極微細構造実験室それぞれを見学し、研究内容の一部の紹介を受けた。

B班の12名は、前田バイオ工学研究室を見学した。はじめに和田健一協力研究員から、工学とバイオの新たな融合領域の開拓を目指している研究室であり、工学と化学と生物学が一つの研究室として構成されているところが最大の強みであるという説明をいただいた。その後、マイクロ流体デバイスを製作している実験室等の見学を行った。参加者は、活発に質問を行っていた（写真4）。



写真1

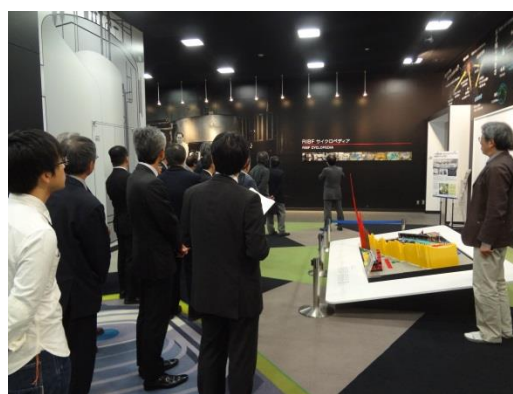


写真2



写真3 (A班)



写真4 (B班)

## 5. スケジュール

- 13：50 展示事務棟 1 階 AV ホール集合
- 14：00～14：30 理化学研究所の概要説明  
広報室 楊 様
- 14：45～15：15 仁科加速器研究センター RIBF 棟展示室見学  
渡邊康先任研究員
- 15：30～16：15 班別研究室等見学  
【A 班】創発物性科学研究センター創発物性科学研究支援チーム  
秋元彦太チームリーダー  
【B 班】前田バイオ工学研究室  
和田健一協力研究員
- 16：25 展示事務棟 1 階 AV ホール集合、解散

## 6. 所見

各見学箇所で大変活発に質疑応答が交わされ、参加者からの評判も良かったことから、来年度以降も本見学会を継続していきたい。

(報告書作成 江戸 義博)